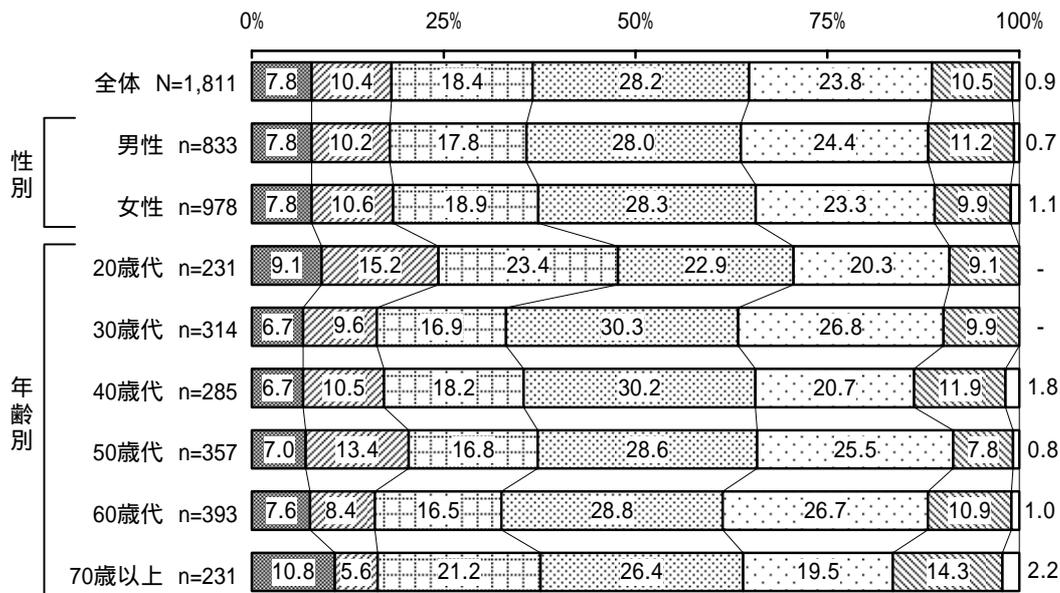


# 第4章 中心市街地の活性化

## 4-1 中心市街地への来訪について

中心市街地に『月1回以上』出かける人は57.0%（「この区域に住んでいる」は除く）

問16 あなたは、どれくらいの頻度で「中心市街地」に来ることがありますか。（あてはまる番号に1つだけ印） 現在「中心市街地」の範囲に住んでいる方は1をつけてください。

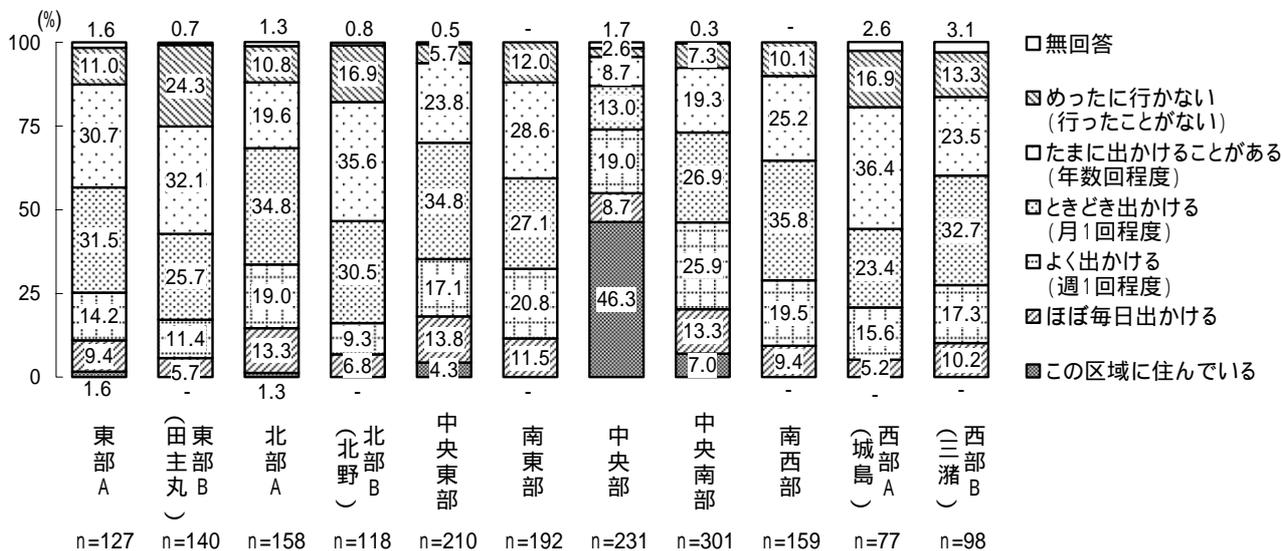


この区域に住んでいる  
 ほぼ毎日出かける  
 よく出かける (週1回程度)  
 ときどき出かける (月1回程度)  
 たまに出かけることがある (年数回程度)  
 めったに行かない (行ったことがない)  
 無回答

・年齢別でみると、『月1回以上出かける』は20歳代(61.5%)で高く、70歳以上(53.2%)で低い。

・ブロック別にみると、『月1回以上出かける』は北部A(67.1%)、中央南部(66.1%)、中央東部(65.7%)、南西部(64.7%)、西部B(三潁)(60.2%)で6割を超える。

### ブロック別にみた来街頻度

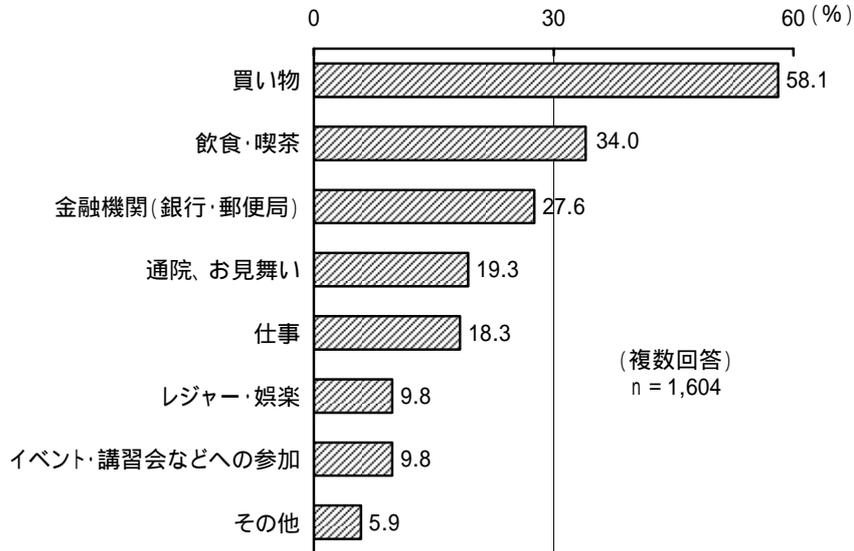


主な目的は「買い物」が 58.1%。

**付問 1 問 16 で「この区域に住んでいる」、「出かける(毎日～年数回程度)」に回答した人に**

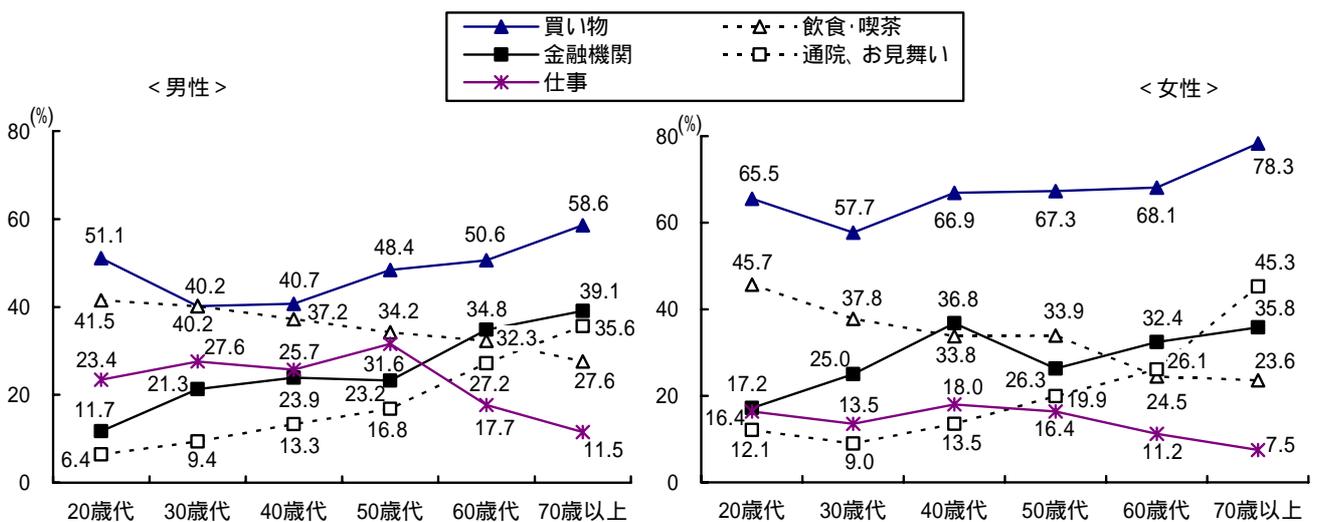
「中心市街地」に来る主な目的は何ですか。(あてはまる番号にいくつでも 印)

問 16 で「1. この区域に住んでいる」と答えた方は、中心市街地で主に行っていることを選んでください。

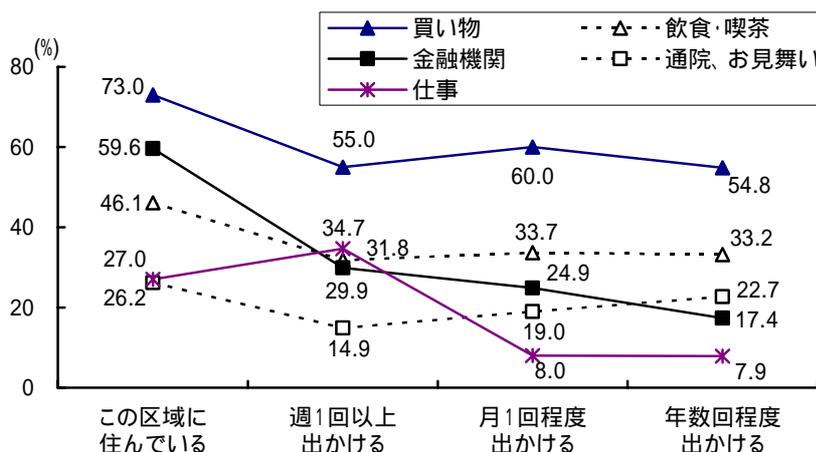


- ・性別で見ると、「買い物」は男性(47.8%)に対して女性(66.8%)が高い。一方、「仕事」は男性(23.6%)の方が女性(13.9)より高い。
- ・年齢別で見ると、「飲食・喫茶」は50歳代以下で高く、特に20歳代では4割を超える。また、「通院、お見舞い」は高齢層で高く70歳以上では4割になる。
- ・ブロック別にみると、「買い物」の割合は中央部(68.3%)や東部B(田主丸)(65.7%)で特に高く、北部A(46.8%)で低い。「飲食・喫茶」は北部B(北野)(45.4%)で、「金融機関」は中央部(53.4%)で高い。

性別・年齢別にみた来訪目的【上位5位】



来街頻度別にみた来訪目的【上位5位】



ブロック別にみた来訪目的

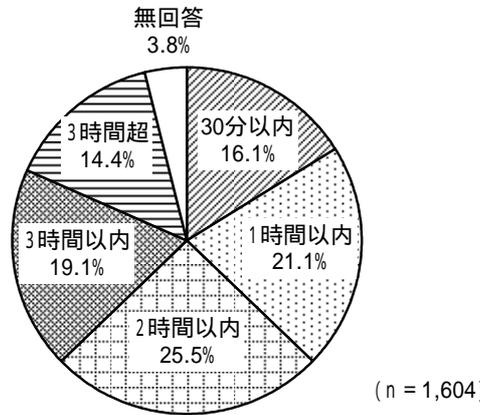
	標本数 (票)	来訪目的 (%)									
		買 い 物	飲 食 ・ 喫 茶	郵 便 融 機 関 ( 銀 行 ・ )	通 院 、 お 見 舞 い	仕 事	レ ジ ヤ ー ・ 娯 楽	な ど へ の 参 加 講 習 会	そ の 他	無 回 答	
全 体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,604)	58.1 (932)	34.0 (546)	27.6 (442)	19.3 (310)	18.3 (294)	9.8 (157)	9.8 (157)	5.9 (95)	1.9 (31)	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	111	51.4	35.1	12.6	27.0	18.0	10.8	14.4	5.4	2.7
	東部B (田主丸)	105	65.7	32.4	8.6	18.1	18.1	17.1	9.5	5.7	1.9
	北部A	139	46.8	23.0	34.5	17.3	17.3	11.5	7.2	8.6	1.4
	北部B (北野)	97	59.8	45.4	13.4	27.8	15.5	6.2	8.2	4.1	1.0
	中央東部	197	59.9	28.4	31.0	18.8	20.3	7.6	7.1	5.1	1.5
	南東部	169	56.8	36.1	21.9	14.8	17.2	5.9	14.8	7.7	1.8
	中央部	221	68.3	36.2	53.4	16.7	18.1	10.4	8.6	6.8	3.6
	中央南部	278	57.2	39.2	34.5	15.5	18.7	7.2	10.1	6.5	1.8
	南西部	143	54.5	28.7	25.9	21.7	18.2	9.8	7.0	3.5	1.4
	西部A (城島)	62	58.1	35.5	6.5	37.1	9.7	24.2	11.3	4.8	-
西部B (三瀬)	82	54.9	34.1	6.1	17.1	28.0	9.8	12.2	3.7	2.4	

滞在時間は、1 時間以内が 37.2%、2 時間以内が 25.5%。

**付問 2 問 16 で「この区域に住んでいる」、「出かける(毎日～年数回程度)」に回答した人に**

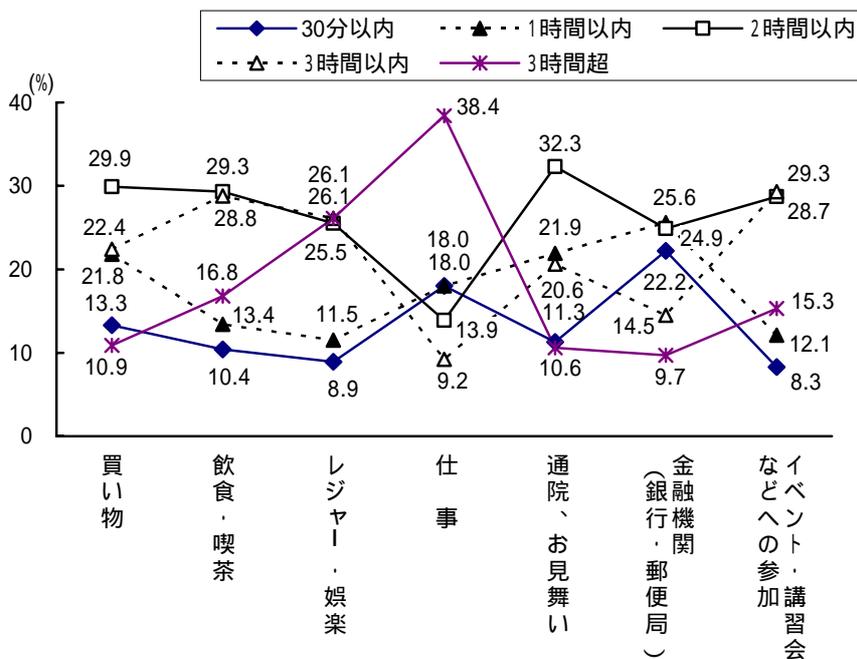
「中心市街地」に来る際の滞在時間はどれくらいですか。(あてはまる番号に 1 つだけ 印)

問 16 で「1. この区域に住んでいる」と答えた方は、ふだん中心市街地で、付問 1 にあげた活動（買い物やイベント参加など）を行う時間を選んでください。



- ・性別でみると、男性は「30 分以内」(18.1%)、「1時間以内」(23.8%)がやや高く、女性は「2時間以内」(27.8%)、「3時間以内」(20.8%)が高い。
- ・年齢別でみると、「3時間超」は 20～40 歳代の若年層で高い。50～60 歳代は「2時間以内」(28.8%、29.2%)が高い。
- ・ブロック別にみると、滞在時間の長い「3時間超」は東部 B (田主丸) (23.8%)で、「3時間以内」は西部 B (三潁) (29.3%)、北部 B (北野) (27.8%)、東部 B (田主丸) (26.7%)で割合が高くなっている。

来訪目的別にみた滞在時間

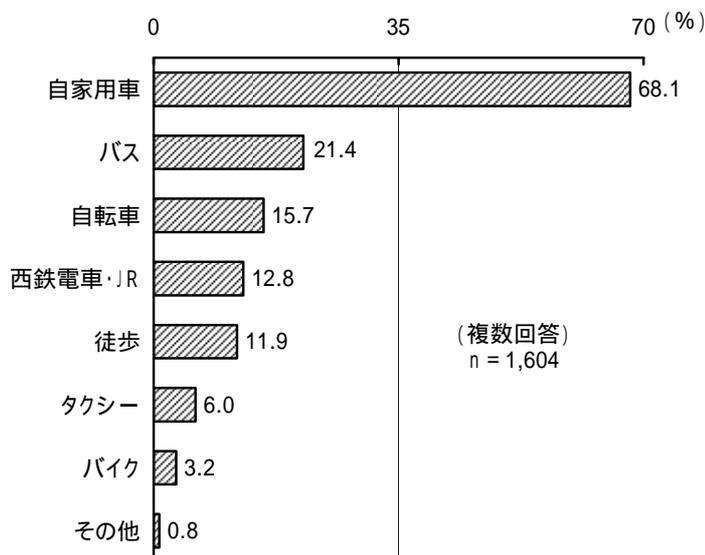


主な交通手段は「自家用車」(68.1%)

**付問3** 問16で「この区域に住んでいる」、「出かける(毎日～年数回程度)」に回答した人に

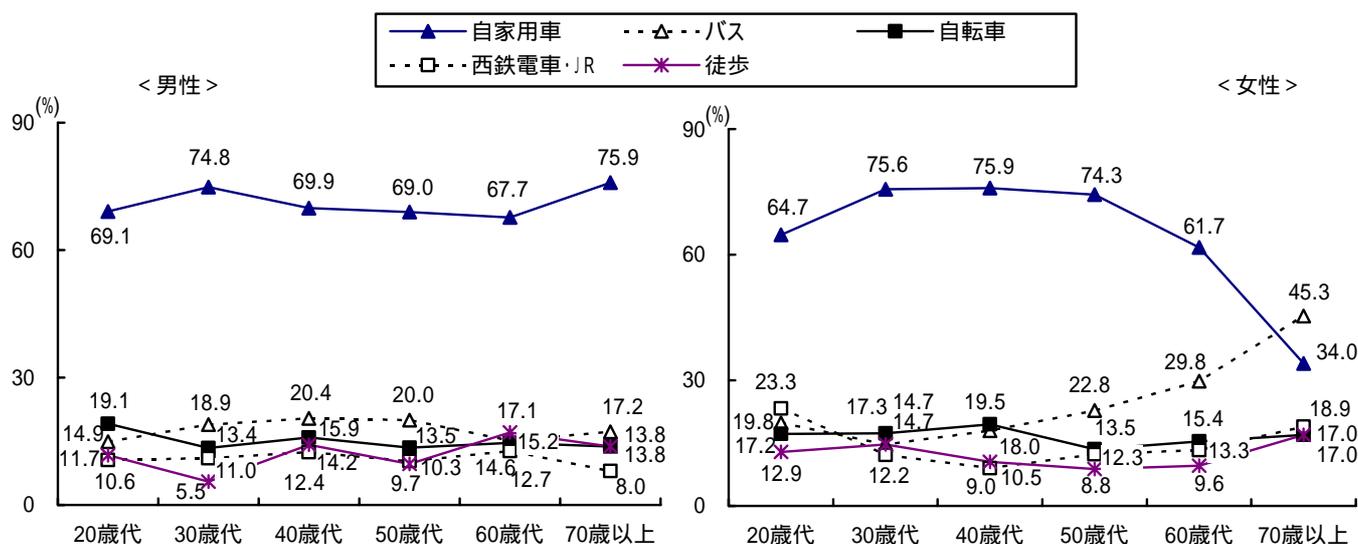
「中心市街地」に来る主な交通手段は何ですか。(あてはまる番号にいくつでも 印)

問16で「1. この区域に住んでいる」と答えた方は、中心市街地での移動の時に使う交通手段を選んでください。

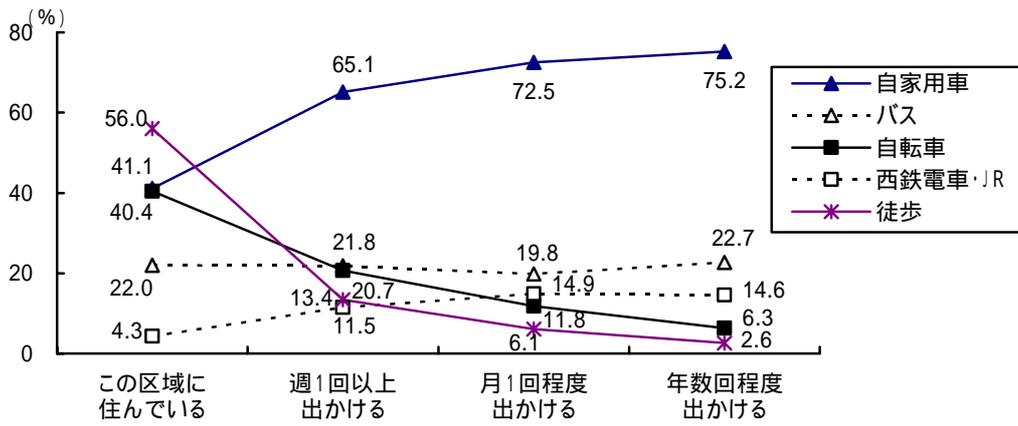


- ・性別で見ると、「自家用車」は男性(70.7%)が女性(65.9%)より割合が高く、「バス」は女性(24.5%)が男性(17.8%)より高い。
- ・年齢別で見ると、「自家用車」は30～50歳代で高く7割を超える。「バス」は70歳以上では32.6%となっている。
- ・ブロック別に見ると、「自家用車」は東部B(田主丸)(90.5%)、西部A(城島)(85.5%)、西部B(三瀬)(82.9%)で8割を超える。「バス」は南東部(35.5%)や中央東部(33.0%)で高く、「自転車」は中央部(34.8%)、中央南部(29.5%)で高い。

性別・年齢別にみた主な交通手段【上位5位】



来街頻度別にみた主な交通手段【上位 5 位】



ブロック別にみた主な交通手段

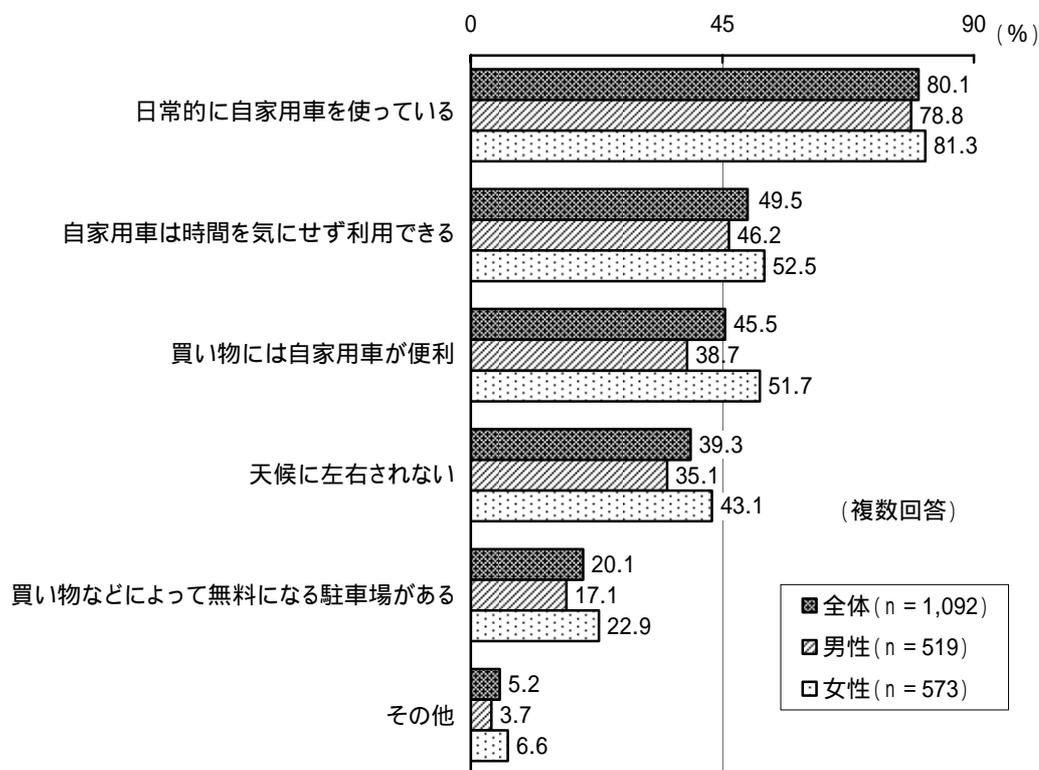
	標本数 (票)	主な交通手段 (%)								
		自家用車	バス	自転車	西鉄電車・JR	徒歩	タクシー	バイク	その他	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,604)	68.1 (1,092)	21.4 (344)	15.7 (252)	12.8 (205)	11.9 (191)	6.0 (96)	3.2 (52)	0.8 (13)	1.2 (19)
ブロック別										
東部A	111	77.5	29.7	3.6	2.7	0.9	3.6	2.7	0.9	1.8
東部B(田主丸)	105	90.5	18.1	-	8.6	-	2.9	1.0	2.9	-
北部A	139	66.2	21.6	10.1	18.7	7.2	7.9	2.2	0.7	2.2
北部B(北野)	97	79.4	6.2	1.0	40.2	1.0	1.0	-	-	2.1
中央東部	197	60.9	33.0	23.4	2.5	14.2	5.6	5.6	1.0	1.5
南東部	169	65.7	35.5	9.5	0.6	0.6	4.7	6.5	1.2	1.2
中央部	221	50.2	23.1	34.8	4.5	43.4	8.1	4.5	-	1.8
中央南部	278	60.4	19.1	29.5	14.4	17.6	8.3	2.9	1.1	1.1
南西部	143	77.6	11.9	5.6	25.2	2.1	9.1	2.8	-	-
西部A(城島)	62	85.5	12.9	3.2	17.7	-	3.2	-	-	-
西部B(三瀬)	82	82.9	2.4	2.4	30.5	2.4	2.4	1.2	1.2	-

自家用車を使う理由は、日常的な利用というほかに「時間を気にせず利用できる」ところ。

付問3-1 問16付問3で「自家用車」と回答した人に

あなたが、中心市街地に来る際に自家用車を利用するのはどのような理由からですか。

(あてはまる番号にすべて 印)



・性別で見ると、いずれの項目についても男性よりも女性の割合が高い。

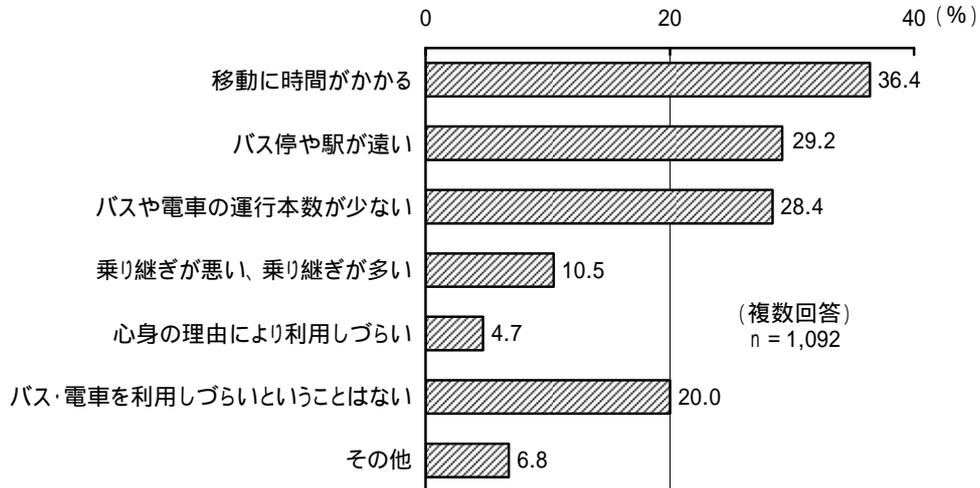
・年齢別で見ると、70歳以上では「買い物などによって無料になる駐車場がある」が31.4%と高くなっている。

・ブロック別に見ると、「買い物などによって無料になる駐車場がある」は中央部(27.0%)、中央南部(23.8%)、南東部(23.4%)でやや高くなっている。

バスや電車を利用しづらい理由は「時間がかかる」、「バス停や駅が遠い」、「運行本数が少ない」など。

付問 3 - 2 問 16 付問 3 で「自家用車」と回答した人に

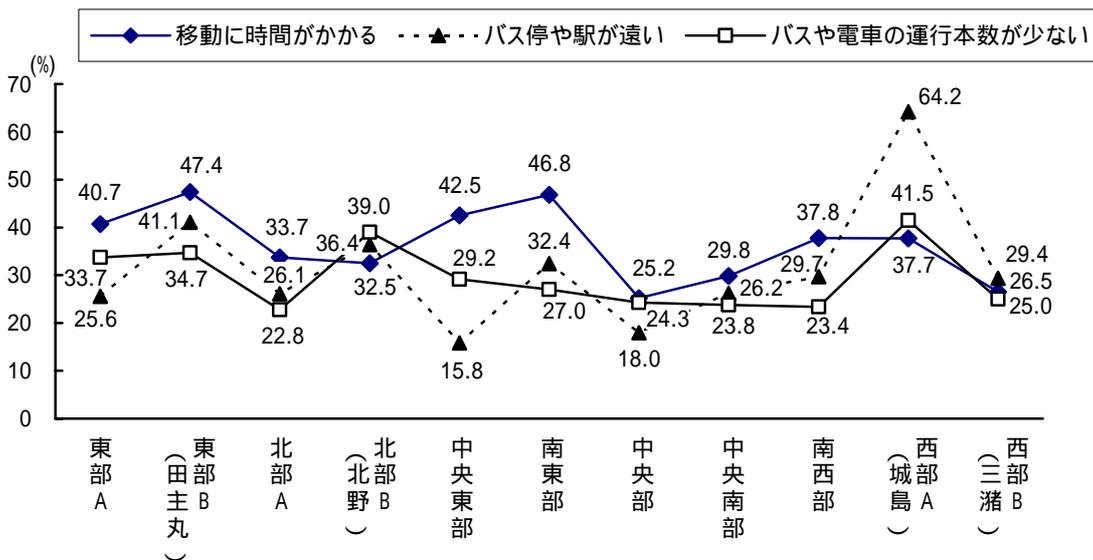
あなたは、バスや電車を利用しづらいということがありますか。あれば理由をお聞かせください。(あてはまる番号にすべて 印)



・年齢別で見ると、「移動に時間がかかる」が 20・30・60 歳代で特に高く 4 割程度 (40.7%、39.9%、39.0%)。「バスや電車の運行本数が少ない」は 60 歳代 (22.9%) や 70 歳以上 (21.6%) では低い。

・ブロック別にみると、東部 B (田主丸) (47.4%)、南東部 (46.8%)、中央東部 (42.5%)、東部 A (40.7%) で「移動に時間がかかる」という割合が高い。また、「バス停や駅が遠い」は西部 A (城島) (64.2%)、東部 B (田主丸) (41.1%) で、「バスや電車の運行本数が少ない」は西部 A (城島) (41.5%)、北部 B (北野) (39.0%)、東部 B (田主丸) (34.7%)、東部 A (33.7%) で割合が高い。

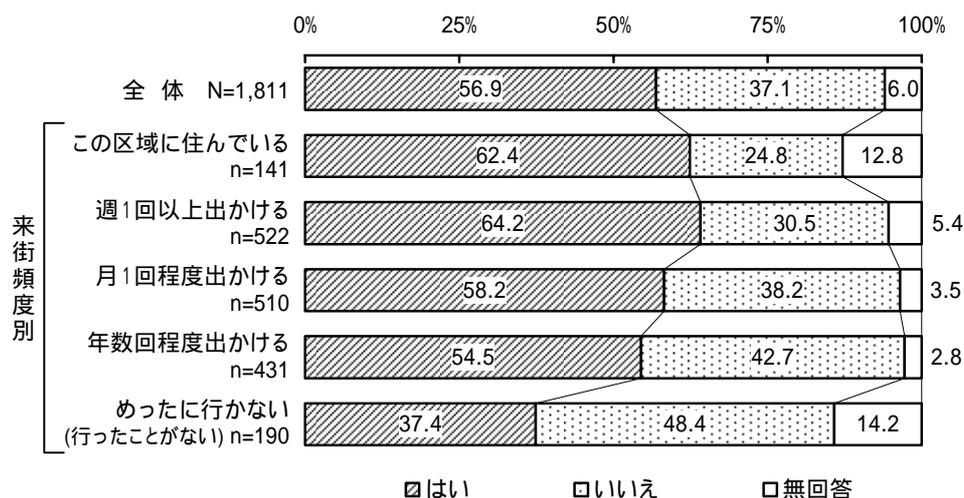
ブロック別にみたバスや電車を利用しづらい理由【上位 3 位】



## 4 - 2 中心市街地への来街促進

駐車場の無料サービスで来街頻度が増えると考えるのは56.9%。ただし、めったに行かないという人では37.4%程度。

問 17 中心市街地に来る主な目的として買物や飲食が多いという調査結果がありますが、このような来街を促進させるために、中心市街地で駐車場の無料サービスがあれば、あなたは、中心市街地へ来る頻度が増えますか。(あてはまる番号に1つだけ 印)



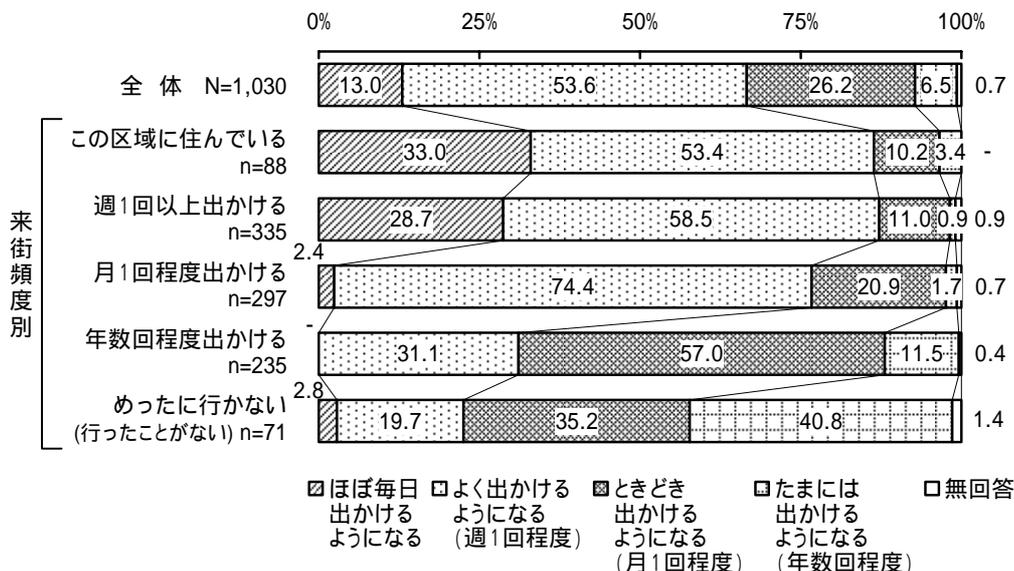
・年齢別で見ると、20歳代(67.5%)や30歳代(67.2%)で「はい」と答えた割合が特に高い。

・ブロック別にみると、西部B(三潁)(67.3%)や中央部(63.2%)で特に割合が高い。

### 付問 1 問 17 で「来街頻度が増える」と回答した人に

どれくらいの頻度で出かけるようになると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ 印)

問 16 で「1. この区域に住んでいる」と答えた方は、ふだん中心市街地で、付問 1 にあげた活動(買い物やイベント参加など)を行う頻度を選んでください。

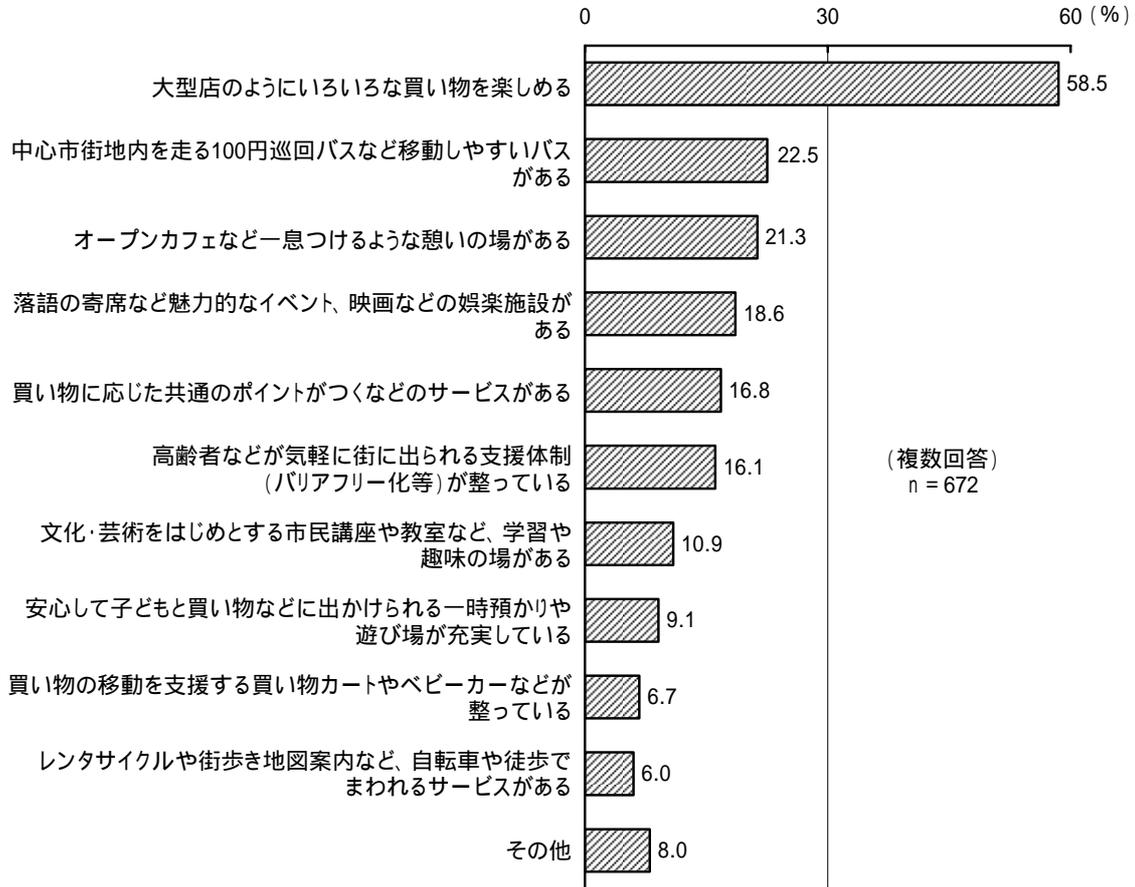


駐車場無料化以外の要望は「大型店のようにいろいろな買い物を楽しめる」が圧倒。

**付問 2** **問 17 で「来街頻度は増えない」と回答した人に**

どのような取り組みがあれば、中心市街地へ来る頻度が増えると思いますか。

(あてはまる番号にすべて 印)



・性別でみると、男性に比べて女性で高い取り組みは「中心市街地内を走る 100 円巡回バスなど移動しやすいバスがある」(26.6%)、「オープンカフェなど一息つけるような憩いの場がある」(23.8%)、「買い物に応じた共通のポイントがつくなどのサービスがある」(20.6%)など。一方、男性の方が高いのは「落語の寄席など魅力的なイベント、映画などの娯楽施設がある」(20.7%)。

・年齢別でみると、「大型店のようにいろいろな買い物を楽しめる」の割合は特に若年層で高く、20歳代が72.5%、30歳代が70.3%。一方、「中心市街地内を走る 100 円巡回バスなど移動しやすいバスがある」は、20歳代(31.9%)とともに60歳代(26.5%)や70歳以上(25.8%)でも高い。

・ブロック別にみると、西部B(三瀬)で「大型店のようにいろいろな買い物を楽しめる」が70.8%と高い。また、「中心市街地内を走る 100 円巡回バスなど移動しやすいバスがある」は中央部(38.3%)で、「オープンカフェなど一息つけるような憩いの場がある」は中央東部(31.8%)、南東部(28.4%)、中央部(28.3%)でそれぞれ割合が高くなっている。

来街頻度別にみた中心市街地への来街頻度が増える取り組み

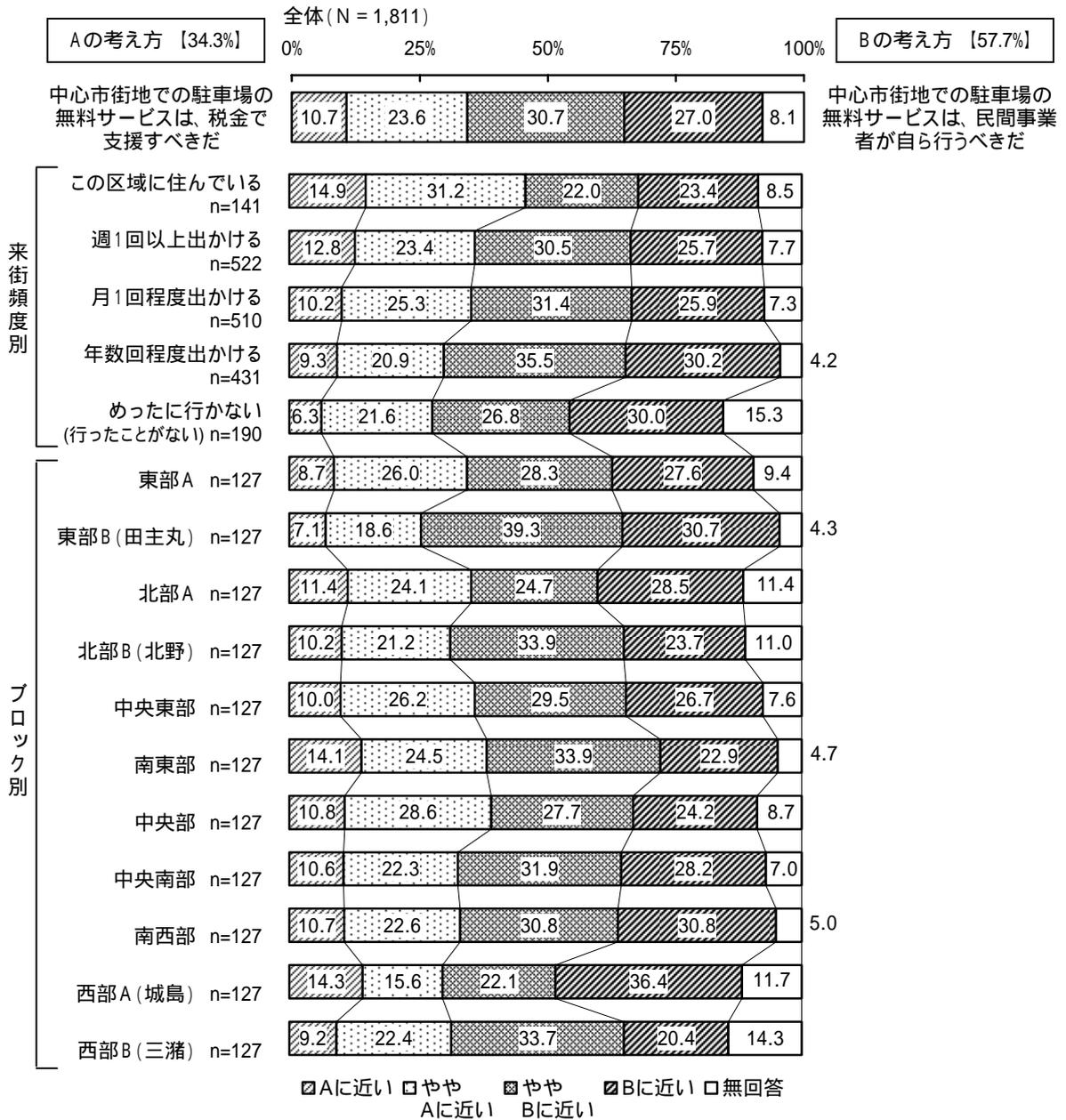
	標本数 (票)	中心市街地への来街頻度が増える取り組み(%)																
		大型店のよう にいろいろ買 い	あるバスなど 移動しやすい バスが巡	中心市街地内 を走る100 円が巡	オープンカフェ など一息つけ る	落語、映画な ど魅力的なイ ベ	がつくなどの サービスがあ る	買物に合った 共通のポイント	整った体制(パ リアリティ)が あ	高年齢者が 気軽に街に出 られ	講座や教室な ど、学習や趣 味の民	文化・芸術を はじめとする 市民	場が充実して いる	安心して子ども と買い物など に	カーシェアや バイクなどが あ	買い物へのサ ービスがあ	レンタサイクル や徒歩でま わ	その他
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 ( 672)	58.5 ( 393)	22.5 ( 151)	21.3 ( 143)	18.6 ( 125)	16.8 ( 113)	16.1 ( 108)	10.9 ( 73)	9.1 ( 61)	6.7 ( 45)	6.0 ( 40)	8.0 ( 54)	9.5 ( 64)					
来街頻度別	この区域に住んでいる	35	57.1	34.3	22.9	22.9	31.4	22.9	5.7	11.4	5.7	5.7	14.3	-				
	週1回以上出かける	159	56.6	26.4	34.6	25.8	22.6	17.6	16.4	12.6	12.6	6.9	7.5	6.9				
	月1回程度出かける	195	61.0	25.1	23.1	20.0	17.9	16.4	10.8	8.7	5.1	4.6	7.7	7.7				
	年数回程度出かける	184	64.1	17.4	16.8	14.7	13.0	16.3	7.6	8.7	6.5	6.5	7.6	11.4				
	めったに行かない (行ったことがない)	92	46.7	15.2	3.3	10.9	7.6	9.8	10.9	4.3	1.1	5.4	8.7	18.5				
無回答	7	42.9	28.6	14.3	-	-	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-				

「この区域に住んでいる」人は、移動や買い物へのサービスを求める声が多い。

「週1回以上出かける」人は、オープンカフェやイベントを求める声が多い。

駐車場無料サービスへの支援への賛成は 34.3%。

問 18 駐車場の無料サービスには、サービスの仕組みづくりや運営のための費用が必要となりますが、あなたはその費用に対して市が税金で支援すべきだと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ 印)



・年齢別で見ると、年齢が高くなるほど賛成の割合が低く、20歳代の賛成 40.3%に対し、70歳以上では 26.9%となっている。

・ブロック別にみると、賛成の割合が高いのは中央部(39.4%)や南東部(38.6%)。一方、低いのは東部B(田主丸)(25.7%)や西部A(城島)(29.9%)となっている。

## 考 察 中心市街地の活性化

久留米市中心市街地の商業地は、ここ 20 年ほど歩行者通行量が減少し、平成 15 年以降には空き店舗率が上昇するなど、中心市街地としてのポテンシャルが低下しはじめている。

久留米市は「久留米市中心市街地活性化基本計画」を策定し、こうした現状を改善する取り組みを進めている。今年度は駐車場の一定時間無料化により、来街者がどの程度増えるかという社会実験をおこなったが、十分な結果を得ることができなかった。

### 来街者の現状

中心市街地に月 1 回以上出かける人は 57.0%で半数を超える（中心市街地居住者を除く）。その来街目的は「買い物」が 58.1%で大半を占め、続いて「飲食・喫茶」が 34.0%、さらに「金融機関」、「通院・見舞い」、「仕事」と続く。

この来街頻度は昨年度調査よりも増加した結果となっている。昨年度調査では「月 1 回以上出かける」人は 49.7%。その来街目的は「買い物」が 54.1%、「飲食・喫茶」が 28.1%となっており、いずれも今年度調査のほうが増加している。おそらくこれは、今年度の調査が商業施設と公共施設が複合した「くるめりあ六ツ門」の開店の時期とほぼ重なり、高い結果となったのではないかと推測される。

この来街頻度は 20 歳代で最も高い。また地域ブロック別では、中央部を除くと、北部 A、中央東部、中央南部で高く、西部 A（城島）や東部 B（田主丸）で低くなっている。この傾向は昨年と変わらないが、北部 A で月 1 回以上出かける人が 13.4%増加する結果となっている。

この中心市街地への交通手段は自家用車が 68.1%と圧倒的に多い。70 歳以上の女性でバス利用が多くなるが、それ以外のすべての年齢・性別で自家用車を利用して来街する人が多いという結果がでている。

### 駐車場無料サービスによる影響

この中心市街地の来街者を増やす方法として、駐車場を無料にすることは効果があるのだろうか。今回の調査では、「中心市街地で駐車場の無料サービスがあれば、あなたは中心市街地へ来る頻度が増えますか」と質問している。この結果によると「はい」と答えたのは 56.9%、「いいえ」と答えたのは 37.1%であり、一定の来街促進効果が見込まれる。そこで、この「はい」と答えた人を分析する。

#### 既存来街者にニーズあり

分析結果によると、来街頻度が増えると答えたのは中心市街地に既に来ている人たちである。

「この区域に住んでいる」人で来街頻度が増えると答えたのは 62.4%、「週 1 回以上出かける」人では 64.2%と高い。しかし「めったに行かない」と答えた人では 37.4%である。

また「買い物などによって無料になる駐車場がある」ので既に自家用車で中心市街地に来ている人は、75.9%が来街頻度が増えると答えている。この人たちは他の無料駐車場を既に利用している人たちである。

#### 子育て世代と三潁地区にニーズあり

こうした既存来街者だけではなく、無料化によって新規来街者になる可能性のある人たちをみると、女性 30 歳代と三潁地区の人たちがあげられる。

頻度が増えると答えたのは、まず女性 30 歳代で 75.0%と高い。また未就学児と同居している家庭で 67.1%と高い。中心市街地には子育て支援施設が集積しており、おそらくこれは子どもを抱えて買い物するには駐車場が重要と考えている人たちだろう。

また地区別でみると、三潁地区で 67.3%と高くなっている。この三潁地区で高い理由は今回の調査では明確になっていないが、おそらく三潁地区の商業施設の集積度や交通アクセスが関係していると思われる。

この結果から、中心市街地居住者や既存来街者だけではなく、子育ての状況や地域によっては、駐車場無料サービスによる来街者増加の可能性がまったくないわけではない。

駐車場無料サービスで来街頻度が増えると回答した人の割合 (%)

	駐車場無料サービスで来街頻度が増えると回答した人の割合 (%)		中心市街地に自家用車で来ることがある理由	駐車場無料サービスで来街頻度が増えると回答した人の割合 (%)		
	割合 (%)	理由		割合 (%)	理由	
男性	20 歳代	67.6	中心市街地に自家用車で来ることがある理由	日常的に自家用車を使っている	67.0	
	30 歳代	57.7		自家用車は時間を気にせず利用できる	65.4	
	40 歳代	52.7		買い物によって無料になる駐車場がある	<b>75.9</b>	
	50 歳代	53.8		買い物には自家用車が便利	68.8	
	60 歳代	49.4		居住地	東部 A	52.8
	70 歳以上	56.7			東部 B (田主丸)	42.1
					北部 A	55.1
女性	20 歳代	67.5	居住地	北部 B (北野)	55.9	
	30 歳代	<b>75.0</b>		中央東部	54.8	
	40 歳代	58.3		南東部	59.9	
	50 歳代	58.7		中央部	<b>63.2</b>	
	60 歳代	50.2		中央南部	59.1	
	70 歳以上	37.8		南西部	57.9	
				西部 A (城島)	50.6	
子どもの状況	未就学児と同居	<b>67.1</b>	居住地	西部 B (三潁)	<b>67.3</b>	
	小学生と同居	63.4				
	中学生と同居	62.9				
	中学生以下の同居人はいない	54.7				

## いろいろな買い物が楽しめることが重要

しかし今年度の社会実験では、駐車場の無料化だけでは来街者の増加には結びつきにくいという結果となっている。ではどのようなことが中心市街地への来街を増やすために必要なのだろうか。今回の調査では「増えない」と答えている人に、「どのような取り組みがあれば中心市街地へ来る頻度が増えると思いますか」と質問している。

これによると、「大型店のようにいろいろな買い物が楽しめる」が 58.5%で圧倒的に多い結果となっている。「100 円巡回バス」、「オープンカフェのような憩いの場」などもこれに続くが、20%程度である。

この結果から、市民が中心市街地に求めているのは、商業地としての機能向上や人を呼び込める魅力を高めることであり、こうした取り組みが来街者を増加させる大きな要因となっている。さらに言えば行政支援施策のみでは来街者を増やすことは困難と考えられ、中心市街地活性化のためには商店街自らが積極的に取り組むことが必要と考えられる。

## 「税金を支援すべきだ」と考えるのは、中心市街地居住者と既存来街者

駐車場の無料サービスの費用を市が税金で支援すべきかどうかの質問では、「税金で支援すべきだ」は34.3%、「民間事業者自らが行うべきだ」が57.7%となり、税金による支援は否定的な意見が多い結果となった。

地域ブロック別にみると「税金で支援すべきだ」という意見が比較的多いのは中央部(39.4%)や南東部(38.6%)であり、東部B(田主丸)(25.7%)や西部A(城島)(29.9%)で低くなっている。また年齢別では、若い世代で比較的多くなる傾向があり、20歳代では40.3%に対し、70歳以上では26.9%と低くなる。

税金で支援すべきと考えるのは、中心市街地居住者および中心市街地に来街している人に多い。「税金で支援すべきだ」と答えた割合は中心市街地区域に住んでいる人では46.1%と高く、「民間事業者自ら行うべきだ」の45.4%と拮抗している。また中心市街地へ「週1回以上出かける」人で「税金で支援すべきだ」は36.2%であるが、逆に「めったに行かない」人では27.9%と低くなる。これらのことにより、駐車場無料サービスに対して税金で支援することについては、中心市街地居住者や既存来街者の支持は得ているものの、既存来街者ではない半数以上の市民からは支持が得られていない結果となっている。